

# ベッド柵類での はさまれについてのご注意



医療・介護ベッド安全普及協議会

## はじめに

医療福祉ならびに在宅介護の両分野で使用されていますベッドのほとんどには様々な目的のベッド柵類が活用されています。患者様の転落予防や寝具の転落予防を目的としたベッド柵類ですが、ベッド上で予測できない行動をとると思われる方や、自力で危険な状態から回避することができない方などに使用しますと、ベッド柵類のすき間に身体の一部（頭や首）が挟まれる可能性があります。必ず本マニュアルと各メーカーの取扱説明書をよくお読みの上、ご使用くださいますようお願いいたします。

### 製品の使用目的と効果

ベッド柵類は、医療・介護用ベッドで療養される方々のベッドからの転落および寝具の落下を予防することを主たる目的とし、ベッドの両側の一部または全部を覆うものです。なお、ここでのベッド柵類とは **サイドレール**、**折りたたみサイドレール** ならびに **手すり(介助バー)** のことを指します。

また中には特殊な機能を有しているものもあり、特に介助バーはベッド上での起き上がりやベッドからの立ち上がりの動作を補助するための製品で、サイドレールと同様にベッドの付属品孔を利用して装着するものです。このように、これらの製品は療養(利用)される方々の安全の確保だけでなく、QOL(生活の質)やADL(日常生活動作、行為)の向上に役立っています。

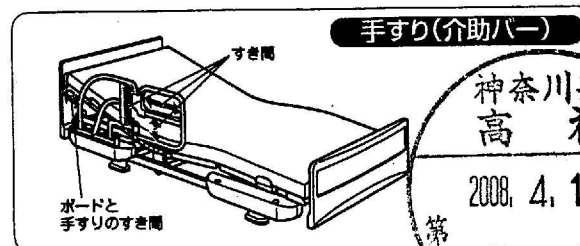
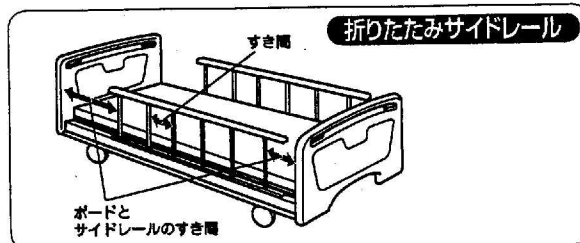
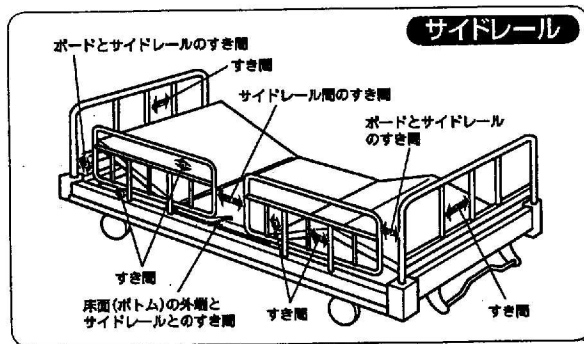
### 安全ラベルについて

注意事項の中で、特に注意していただきたい項目をラベルにして製品に貼っております。決して剥がしたり、傷つけたりしないでください。万一、安全ラベルが傷ついたり剥がれたりした場合には、販売店から新しいラベルを取り寄せて貼り直してください。

また、お使いになられている製品の取扱説明書にも注意事項が記載されていますので、必ずよくお読みの上ご使用ください。

### ベッド柵類のすき間について

これらの製品は、用途により形状や構造が異なるため、いろいろなすき間を内包しています。また、こうした製品内部のすき間ばかりでなく、ベッド本体との組み合わせによっても同様のすき間が生じることになります。このようなすき間によりベッド上で療養される方々の視野が確保されるとともに、閉塞感が軽減され、療養環境の向上にも繋がります。



# 安全に使用するための注意事項

生命にかかわる重大な事故につながる恐れがありますので、十分にご注意ください。

## ⚠ 警告

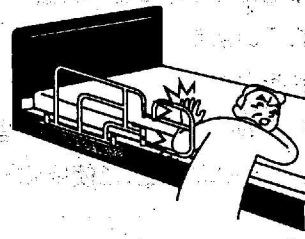
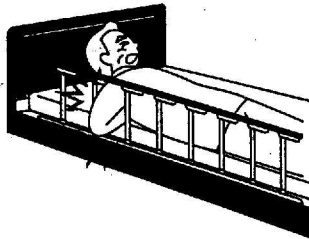
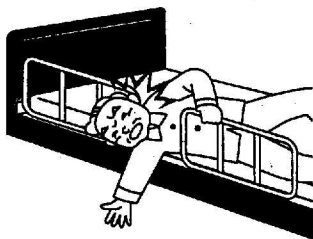
### サイドレール

### 折りたたみサイドレール

### 手すり(介助バー)

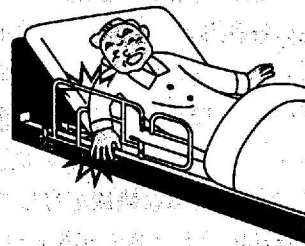
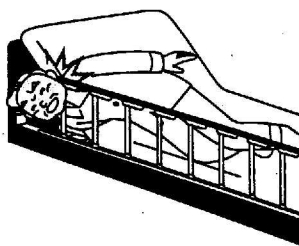
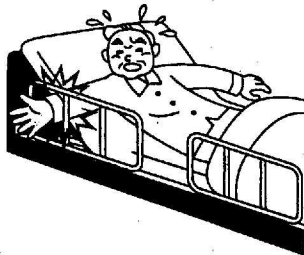
サイドレール各部のすき間やボードとのすき間に身体の一部(特に頭や首)が入らないように注意してください。

- 頭や首がすき間に入ると抜けなくなり、身体の傷害や生命にかかわるけがをします。
- 特にご自身で体位を保持できない患者様には十分注意してください。



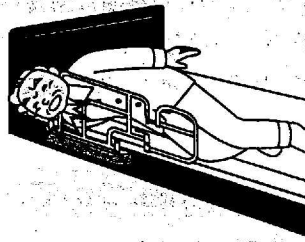
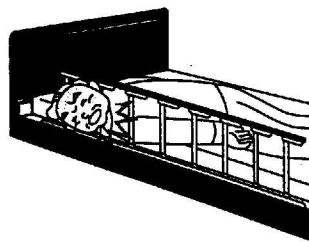
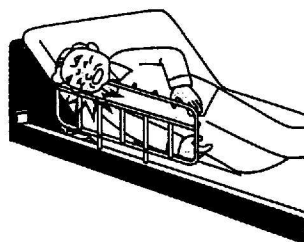
サイドレール各部のすき間から身体の一部(特に頭や首)を出さないでください。

- 身体の一部(特に頭や首)がすき間に入った状態でベッドを操作すると、挟まれて身体の傷害や生命にかかわるけがをします。



サイドレールへの寄りかかりや圧迫には注意してください。

- ベッド柵類に寄りかかったりすると圧迫されて身体の傷害や生命の危険にかかわるけがをします。

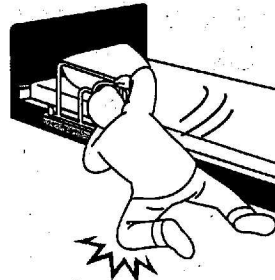


ストッパー等がついている場合、固定(ロック)は確実に行ってください。

- 折りたたみサイドレールを上げた時にストッパーの固定(ロック)を確認してください。固定(ロック)が不十分だと不意に外れ、けがをします。



- 回転アームを手すりとして使用する時は、必ず固定(ロック)を確認してください。固定(ロック)が不十分だと不意に回転し、転倒、けがをします。



# 安全に使用するための注意事項

## ⚠ 警告

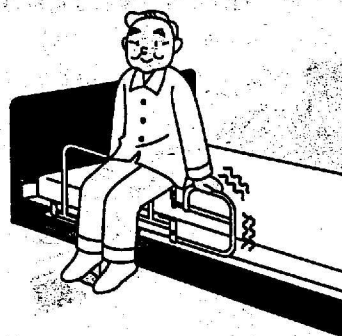
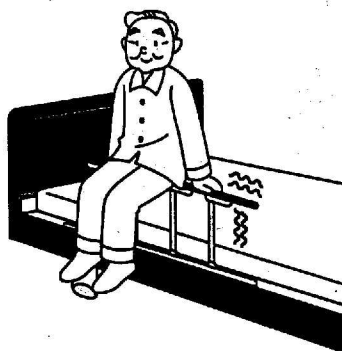
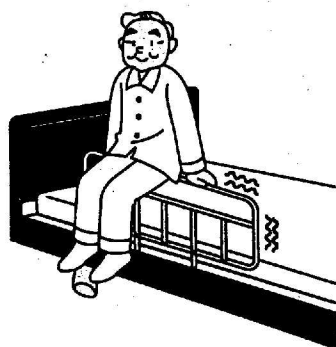
### サイドレール

### 折りたたみサイドレール

### 手すり(介助バー)

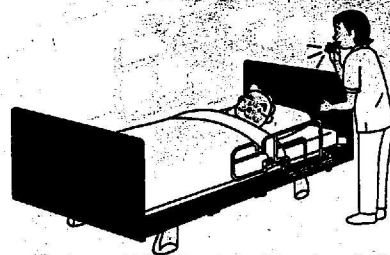
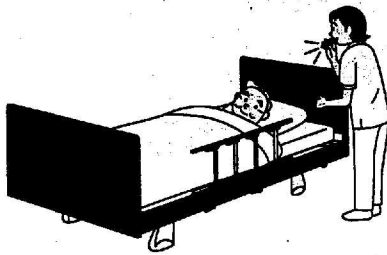
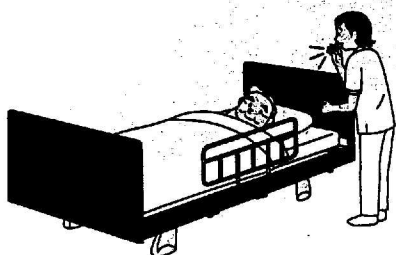
ベッド柵類に腰掛けたりしないでください。

- 体重が掛かっている状態でバランスをくずしたり、サイドレールが不意に倒れたりすると、転倒してけがをする恐れがあります。



患者様の就寝時にベッド柵類を使用する場合、『柵が立っています。』と声を掛けましょう。

- 患者様によってはサイドレールの存在を忘れる方がいます。就寝前に柵がある事を認識させましょう。



ベッドの上から操作する際は転倒に注意してください。

- 操作時に誤って転落し、けがをする恐れがあります。  
ロック操作がうまくできない方、足腰が不安定な方の使用の際には、転落・転倒等の事故を防止するためにも、  
介助者が付き添った上でご使用ください。

